

令和3年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

- (1) 成果
 - ・ 授業改善推進プランを今年度より実施。
- (2) 課題
 - ・ 授業改善推進プランを今年度より実施。

2 大田区学習効果測定の結果分析

- (1) 達成率（経年比較）目標値に対して ◎上回っている ○同程度 △下回っている

	令和3年度結果	令和2年度結果	令和元年度結果
第4学年	/	/	/
第5学年	/	/	/
第6学年	◎	/	/

- (2) 分析（観点別）

6年生

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・全体として目標値、区平均、全国平均を上回っている。 ・「聞く」領域を苦手としている児童がいる。「買い物」の問題では、冠詞(a)の使い方や似た発音の単語 (shirt と shoes) を判別することが難しかった。冠詞の使い方や、複数形について、似た音の後について指導していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体として目標値、区平均、全国平均を上回っている。 ・「書く」領域を苦手としている児童がいる。聞こえたアルファベットを大文字、小文字で書く問題では、正確に書き記すことができない児童がいた。アルファベットの音と文字を一致させる学習活動を充実させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体として目標値、区平均、全国平均を上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

- (1) 低学年(大田区外国語活動)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・3年生からの外国語活動につながるように、扱うテーマを考え、楽しく、意欲的に学習に取り組めるよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分だったらどうか考える習慣や、自分について伝える活動を取り入れ、自分事として取り組む習慣を身 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイコンタクトを取りながら相手の話したことを聞いたり、相手がわかりやすく話すことの大切さを指

にする。(指導計画)	に付ける。(指導計画)	導し、主体的に聞いたり、伝えたりする活動を取り入れる。(指導方法)
------------	-------------	-----------------------------------

(2) 中学年(外国語活動)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し練習し、数字や色、食べ物やスポーツなど身近なものの英語での言い方を理解できるようにする。(指導方法) ・冠詞(a)について、2つ以上の時は複数形になる(～s)ということを指導し、定着するようにする。(指導方法) ・アルファベットの指導では、文字の形と正しい音が定着するよう、様々な場面で取り上げていく。(指導方法) 	<ul style="list-style-type: none"> ・数字や色、食べ物やスポーツなど身近なものの英語で表現できるようにする。(指導方法) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイコンタクトを取りながら相手の話したことを聞いたり、相手がわかりやすく話すことの大切さを指導し、主体的に聞いたり、伝えたりする活動を取り入れる。(指導方法)

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用したり、ゲーム的活動を取り入れたりし、既習表現(持っているものを伝える表現、好きなものを伝える表現、誕生日などの月を表す表現、できることを伝える表現、自分以外の人の表し方、自分の一日を表す表現、自分の予定を表す表現、場所を表す表現、道案内を表す表現、行きたいところを伝える表現、過去のことを表す表現、様子を表す表現、なりたい職業を伝える表現)を繰り返すことにより慣れ親しみ、自由に使うことができるようにする。(指導方法) 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を生かし、自分事と考え、単語だけではなく、文で自分の思いや考えを自由に表現できるようにする。(指導方法) 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を生かし、自分事として考える習慣を身に付け、主体的に伝えたり、聞いたりする活動を取り入れる。(指導方法)

4 今年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

【低・中学年】

- ・場面設定や ICT 教材の活用を工夫し、友達とのかかわり合いを大切にしながら、体験的なコミュニケーション活動を行った。外国語講師を活用したことで、ジェスチャーなども交えて積極的にコミュニケーションしようとする児童の姿が多く見られた。
- ・歌やゲーム、映像、デジタル教科書を多く用いたことで、外国語に対する興味・関心が高まった。

【高学年】

- ・チャンツや歌、ゲームなど楽しい活動を取り入れ、会話を重視したフレーズ練習などを繰り返し行うことで、自信をもって活動する児童の姿が見られた。また、外国語講師とのコミュニケーションを通して、外国語の音声に慣れ親しませる時間を確保することができた。
- ・全体で繰り返し練習をしてから、友達との会話や活動の流れで授業を進めたことで、学んだフレーズを実際に友達と使えるようになってきた。

(2) 課題

【低・中学年】

- ・外国語講師の言うことを聞いて意味を理解することはできるが、発話を通して自分の伝えたいことを表現する力が身に付いていない児童が一部いる。

【高学年】

- ・外国語講師の言うことを聞いて意味を理解することはできるが、記述を通して自分の伝えたいことを表現する力が身に付いていない児童が一部いる。